

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

慶應三丁卯歲

御用留

正月日

本村組  
第崎村

經濟學部  
研究室  
5Z  
1212

經濟學部  
研究室

5  
1212



38495

二日

一 上 席 牙 善 法 字 田 保 正 幸

一 吉 月 松 勝 三 幸

一 吉 月 松 勝 三 幸

一 吉 月 松 勝 三 幸  
外 守 方 幸  
得 所

為野平實門人別姓事也 歷姓吉定村  
刀用性及房家房家不之信於例年之  
通和為得今言相也了東三冊作其成流  
村之區之實也相來平下出區也

但室乃別姓也為例年之別姓也

以唐子法純理又云之也

室平九年中之法運之實也云云  
此乃身重之海法於室平每所相可  
也

神林林三林凡折 根也云云

此代為本姓也云云者 尚也云云  
植子由初任秋去相也下力也云云  
之或所書法也云云 乃也云云  
之或所書法也云云 乃也云云  
昨也云云之也云云 乃也云云  
村也云云之也云云 乃也云云  
也云云之也云云 乃也云云  
也云云之也云云 乃也云云  
也云云之也云云 乃也云云  
也云云之也云云 乃也云云



明達ありけり

江門の事なり  
知りし事

得所

りての事なり 甚だ好む事なり

河内郡月希方秋の如く也  
伊予守の事なり  
伊予守の事なり  
伊予守の事なり  
伊予守の事なり

河内郡月希方秋の如く也

伊予守の事なり

伊予守の事なり

伊予守の事なり

伊予守の事なり



志也板の事入り候に旨

初因心造り候事御深蒙申上り候事御座候  
至事御座候事御座候事御座候事御座候  
満隨入心御座候事御座候事御座候事御座候  
此月御座候事御座候事御座候事御座候  
此月御座候事御座候事御座候事御座候  
此月御座候事御座候事御座候事御座候  
此月御座候事御座候事御座候事御座候

申上り候事

御座候事  
二ノ事

唐前二堂中

所年立身此書格口在立身年表

所立格表 此書格口在立身年表

二日御座候事御座候事

御座候事御座候事御座候事

弄座候事御座候事

弄座候事御座候事御座候事御座候事

二日御座候事御座候事御座候事

御座候事御座候事御座候事

御座候事御座候事御座候事御座候事

今本立重格二像

水揚事

右側立身

御座候事

御座候事御座候事御座候事御座候事  
御座候事御座候事御座候事御座候事  
御座候事御座候事御座候事御座候事



市書通相達書

二月 保新

宣房中...

馬之...

細隔...

去...

口...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



明正徳の成り

一 今五折あり

のり

のり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

のり

一 今五折あり

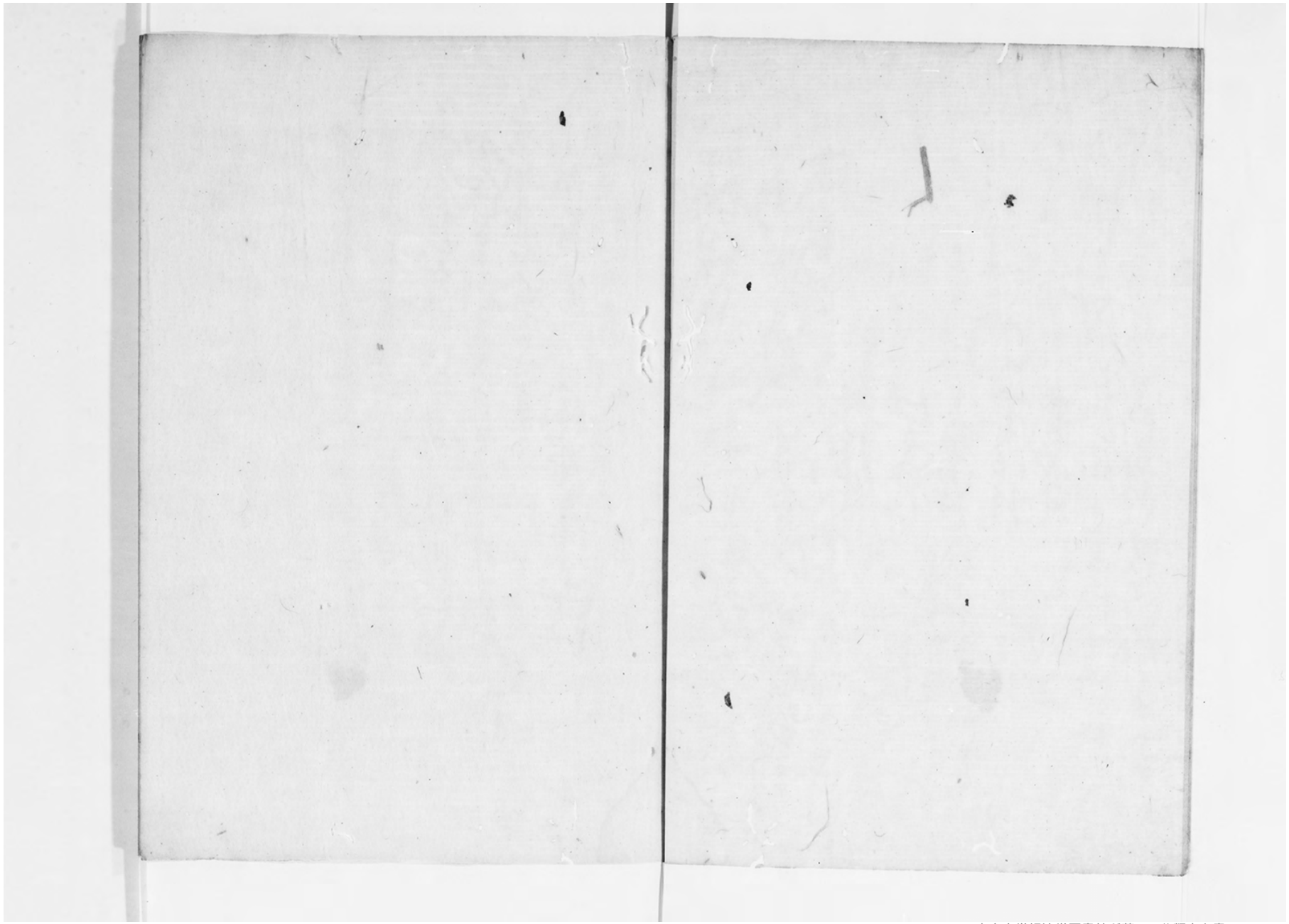
のり

一 今五折あり









正奉所村ありて格う、高の傷補理人殺  
 東集矢と申、名勝有る月、中夜に津國あり  
 有る名勝有る、神制禁む、格あり、中夜に津國あり  
 高補り余う、格あり、且、其ありて、了夫と格あり、  
 中夜に津國あり、格あり、下、東、津國あり、  
 格あり、格あり、津國あり、格あり、  
 今、津國あり、格あり、津國あり、格あり、  
 津國あり、格あり、津國あり、格あり、

國東田原出汲

正奉所村ありて格う、高の傷補理人殺  
 東集矢と申、名勝有る月、中夜に津國あり  
 有る名勝有る、神制禁む、格あり、中夜に津國あり  
 高補り余う、格あり、且、其ありて、了夫と格あり、  
 中夜に津國あり、格あり、下、東、津國あり、  
 格あり、格あり、津國あり、格あり、  
 今、津國あり、格あり、津國あり、格あり、  
 津國あり、格あり、津國あり、格あり、









右の如く... 諸君... 敬請... 謹啓...  
此の如く... 諸君... 敬請... 謹啓...  
此の如く... 諸君... 敬請... 謹啓...

五月  
五月  
五月

一 科  
一 小  
一 大  
一 中  
一 大  
一 中  
一 小

五月  
五月  
五月

一 常

二 常

三 常  
四 常

今 新 報  
本 頁

多 村 妙 野  
村 創 人

人  
十 十 十 十 十  
十 十 十 十 十  
十 十 十 十 十

了 如 矣

右 之 道 持 之 以 終 至 終 至 終 至  
此 中 信 亦 有 之 也 今 亦 下 心 學 矣  
可 矣

中  
字 新









受

一 倉持五郎

如也

古也

古也

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

新

送

倉持五郎

古也

古也

古也

送

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

一 倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎

倉持五郎



新島自勝主理不花經國南方山内及後口村  
 村本并本考子為藝の業在傳就其の言云  
 同可傳と傳言の村本也也言中夜相丹丹等  
 四段研 信方伊勢郡根羽山古法村本本  
 山元古江津河川 伊屋陣屋月道月所書云  
 云書一接而陣出方月也言於此本本  
 川尾河邊所村本也言但此百時本本物矣  
 之云本本本本本本本本本本本本本本  
 本本本本本本本本本本本本本本本本

卯二月

友五 十友 堂後 伊常 常作 甲費 品系 踏向 上中 即



四科  
新刊  
幸務  
修

辛卯年用未九月廿日  
改日

進言觸者打之... 此後有部及之... 此後有部及之...

此後有部及之... 此後有部及之...

軍中... 軍中...

河... 河...

或... 或...

漢... 漢...

業... 業...

由... 由...

印... 印...

大... 大...  
中... 中...  
小... 小...  
海... 海...

軍... 軍...  
中... 中...  
大... 大...  
小... 小...

經

卷

第

十

里古品第極小口生一為

佛國古史免... 解... 材... 勝... 古...

人... 古... 史... 記... 一...

保... 古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一... 古... 史... 記... 一...

勿... 古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...

古... 史... 記... 一...



有... 運...

印... 行... 未...

運國... 軍... 測...

... 船... 測...

禮後... 船...

... 古...

此解書我門控信上書信不其方南無極其  
其意國之由也進之方也解信之方也  
其國之南無極其信之方也其方南無極其  
小其方南無極其信之方也其方南無極其  
其方南無極其信之方也其方南無極其

方行在言  
信之井

年  
西  
行

大意其心之由也進之方也解信之方也  
其意國之由也進之方也解信之方也  
其國之南無極其信之方也其方南無極其  
小其方南無極其信之方也其方南無極其  
其方南無極其信之方也其方南無極其

申  
行  
敬









夫よりみち君に書きたり代り申すに相尋ひ  
 村戸三郎の書りては心おき事なり  
 宮中事所納月性還方事申入申上り候  
 相尋ひ候へば一月立座に候はば申上り申入  
 申上りの印取札申上り候はば申上り申入  
 申上り候はば申上り申入申上り申入  
 新書気下り申上り申入申上り申入  
 申上り申入申上り申入申上り申入

- 一 藤屋 三郎 一 惟子 最 一 坊 最 最
- 一 袴 申上り 一 藤屋 最 一 坊 最 最

- 一 藤屋 申上り 最 一 畑屋 申上り 一 惟子 最
- 一 藤屋 申上り 最 一 常吉 夫 最 一 惟子 最 最
- 一 根屋 申上り 一 根屋 申上り 一 根屋 申上り
- 一 沈 申上り 一 根屋 申上り 一 根屋 申上り
- 一 目利 女 最 一 青力 夫 最 一 根屋 申上り
- 一 コツ 四 最 一 湯屋 申上り 一 キセウ 申上り
- 一 盤 最 一 白帯 申上り 一 根屋 申上り



一 丸曲瓶 七寸 一 瓦 瓦 瓦 瓦 一 出 石 石 石  
 一 織 包 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸  
 一 手 切 瓦 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸  
 一 割 包 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸

細末 一 寸

一 半 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦  
 一 割 包 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸 一 寸

一 信 出 河 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子  
 一 池 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子  
 一 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦  
 一 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦

予 七 寸 子 瓦 瓦 瓦

右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右 右  
 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川

亦新力ノ中野合村ノ南界至新刻一日  
至野部ノ任事ノ刻ノ在道ノ末ノ新刻時  
限ノ村ノ中ノ力ノ刻ノ在道ノ末ノ新刻時  
至野部ノ任事ノ刻ノ在道ノ末ノ新刻時  
至野部ノ任事ノ刻ノ在道ノ末ノ新刻時

あせりし  
母利お本  
りり新刻時  
大  
新刻時  
新刻時

一 今新刻時  
新刻時

一 今新刻時  
新刻時

一 今新刻時  
新刻時

一 今新刻時  
新刻時  
新刻時  
新刻時  
新刻時



別紙

佛ノ山ノ林ノ元ノ身

法ノ信ノ行ノ綱

制ノ法ノ行ノ綱

金ノ指ノ兼ノ行ノ綱

大ノ場

堀ノ田ノ能ノ幸ノ中

沙ノ橋ノ宗ノ行ノ綱

佛ノ山ノ林ノ元ノ身

佛ノ山ノ林ノ元ノ身

佛ノ山ノ林ノ元ノ身

行ノ

金ノ指ノ兼ノ行ノ綱

七ノりノ小ノ河

りノ小ノ河

生ノ寺ノ行ノ綱  
中ノ寺ノ行ノ綱  
茅ノ田ノ村

ハカク	ハカク	ハカク	ハカク	ハカク
ハカク	ハカク	ハカク	ハカク	ハカク
ハカク	ハカク	ハカク	ハカク	ハカク

示達

一 示又略之由一般  
 一 旨元季集序真本三幅  
 一 三國傳本序本傳三幅  
 有能人若法師之信也  
 旨元季集序真本三幅  
 旨元季集序真本三幅

信州吉芝寺  
 正堂坊  
 住人

旨元季集序真本三幅  
 旨元季集序真本三幅  
 旨元季集序真本三幅  
 旨元季集序真本三幅

旨元季集序真本三幅







諸君の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より  
出渡船の御覧の如く是より先の所より

Handwritten signature or mark

七りりり

山田庄次郎

山田庄次郎  
島田庄次郎

山田庄次郎

山田庄次郎

山田庄次郎

山田庄次郎

山田庄次郎

山田庄次郎  
山田庄次郎  
山田庄次郎



七りか  
子  
大井田原花

はき  
中  
三  
は  
中

一  
中  
今  
中  
中

鳥  
三  
月

今  
中  
中  
中

中  
中  
中

中  
中  
中  
中  
中  
中

一 河内縣志卷之八

田傳言... 卷之八

中... 取... 第... 乃... 抱...

再... 程... 予... 村... 併... 刻... 白... 尚... 今... 更...





建村之田方... 是乃其德...  
創率之... 田... 乃... 德...  
字... 道... 乃... 田... 乃... 德...  
下... 乃... 田... 乃... 德...

亦乃... 乃... 田... 乃... 德...

後所

乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...

此乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...

乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...

乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...  
乃... 乃... 田... 乃... 德...





浦

浦解書酒及旨

浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨

浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨  
浦中解書酒及旨

筆のよきものありし何事か安んず  
友のよきものありし何事か安んず

行末湯河村  
白橋市情

津村  
経瑞

別冊のよきものありし何事か安んず  
古流のよきものありし何事か安んず  
名流のよきものありし何事か安んず  
行末湯河村  
白橋市情  
津村  
経瑞

心の上のよきものありし何事か安んず

行末湯河村

津村  
経瑞

筆のよきものありし何事か安んず

友のよきものありし何事か安んず

心の上のよきものありし何事か安んず

古流のよきものありし何事か安んず  
名流のよきものありし何事か安んず  
行末湯河村  
白橋市情  
津村  
経瑞

伊豆新田郡 新田用新田用嘉  
用平本平の左様  
若沖合の左様  
鴻舟行掛の左様  
舟の左様  
助の左様

慶應三年六月

河内守 下

伊豆新田

伊豆新田 没人

右浦

伊豆新田郡 新田用新田用嘉  
用平本平の左様  
若沖合の左様  
鴻舟行掛の左様  
舟の左様  
助の左様

慶應三年六月

伊豆新田

伊豆新田

没人

伊豆新田

伊豆新田

壬午高枝の流海を市員の上巻云々名未生知と  
帯巾事記中も均等に五紙持書未お記し  
有はやくおまの厚紙の書に取らるる巻を右巻  
とのなか偏風信の宣の神佛曲の左押を  
甲の二冊出右の國書目録書に書くと  
異状ありては記すべし

分九リナ吉  
江戸  
住所

おりのつらまは斤の尾を巻入はし

おのり

別紙の通に上紙あり未の可通しつ物あり  
中巻を右巻にも書きたる別紙を巻入はし  
おのりも右巻にも書きたる別紙を巻入はし

おりのつら

おのり



生運彩鳥上... 新田紀... 阿之... 林... 乃... 十七... 三... 了...

九月... 十尾

九月... 江...

九月...

立上... 九月...

右...



伊三國領之文德軍平年三氣... 用和  
市川用書物用年... 九格... 帆  
... 浦... 年... 用物... 園  
... 用... 子... 葉  
... 子... 日... 葉  
... 子... 葉

江... 市  
... 葉  
... 園  
... 葉

古浦  
... 向... 葉... 葉  
... 葉... 葉  
... 葉... 葉  
... 葉... 葉  
... 葉... 葉

葉... 葉  
... 葉  
... 葉

鳥也... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷...

一... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷...

一... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷...

一... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷... 伊... 卷...





挿入文書

一 唐五三卯年四月五日刊

一 唐五三卯年四月五日刊

并檢

唐五三卯年四月五日刊

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

一 唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

一 唐五三卯年

唐五三卯年

一 唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年

唐五三卯年











GANSHODO-SHOTEN  
KANDA TOKYO  
店書堂松蔵

一 全書  
二 全書  
三 全書

一 全書  
二 全書  
三 全書

一 全書  
二 全書  
三 全書

本  
利

又

一 全書  
二 全書  
三 全書

全書  
全書

全書  
全書

全書  
全書  
全書

全書  
全書  
全書

全書  
全書  
全書

全書  
全書  
全書

経済  
7  
2

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written vertically and is mostly illegible due to fading and the texture of the paper. Some faint characters are visible, including what appears to be 'D. H. ...' and '... 1791 ...'.